

第3回基山町総合教育会議

(要点筆記)

日 時：平成31年2月6日（水）午前9時00分～午前10時20分

場 所：基山町役場 4階大会議室

出席委員：6人

松田町長、大串教育長、田口委員、津川委員、中島委員、松隈委員

欠席委員：0人

事務局：9人

総務企画課：熊本課長、山本係長、則本主事

教育学習課：井上課長、音成教育指導主事、主税係長

まちづくり課：内山課長

こども課：平川課長

健康福祉課：中牟田課長

傍聴者：1人

1 開会

2 町長あいさつ

3 教育長あいさつ

4 議題

- ・基山町教育大綱第2期（素案）について

- ・基山町教育大綱見直しに係る今後のスケジュールについて

5 閉会

1 開会

事務局進行

2 町長あいさつ

省略

3 教育長あいさつ

省略

町長進行

4 議題

・基山町教育大綱第2期（素案）について

（事務局から変更点について説明）

- ・（町長）基本目標5（1）の取組方針4つ目の項目の記載については、「あり方」とは「目指すべき姿」という意味と考えられるため、それを「目指す」という言い方になると、意味が重複している気がするので、記載を変えた方がいい。
- ・（委員）各所にでてくる「地域」という言葉は何を指しているのか。
- ・（事務局）部活動と少年スポーツという部分で、部活動に関しては学校毎ということになり、少年スポーツに関しては町内の社会教育や小学校の学年単位といった、子どものお世話をしていただける方たち、そこに住んでいる地域の方々から、子どものころから中学校までつなげてスポーツを通じて子どもを育てる環境をつくっていかうと考えている。
- ・（町長）地域の指す範囲という事であれば、一番広いのは基山町全体。その次が二つの校区でけたもの。一番多いのが、区で分けたもの。さらに区より小さい近所。その4つの「地域」が混在して表現されている。基本目標5（1）の取組方針4つ目の項目の「地域」は「区」や「学校区」くらいのイメージだと思われる。そういったことであれば、この大綱のなかでの「地域」の表現は一定の広さを指すものではないかもしれない。
- ・（委員）学校の部活動というのは、将来的には地域が社会体育的に支える方向性に向いていくと考えている。その地域は小さなコミュニティではなく、基山町全体の社会体育のグループで、将来を考えて連携していくことが必要であるという意味だと考える。

- ・(町長) 基山町全体と密着してという考え方なら、記載の方法を考えなければならないが、この地域は基山町全体だけを指すものではないと思われる。そういう意味では、大綱で「地域」が何箇所か出てくるが、その「地域」が必ずしもみんな同じ範囲を示しているとは限らない。
- ・(事務局) 今の意見を受けて考えると、この表現は「学校の部活動」と「地域に密着した社会体育との連携を深めた少年スポーツを目指す」という表現になると考える。「社会体育」そのものがすでに地域の方々の協力を得て運営されているものなので、学校と地域に根差した社会体育という表現になるのではないか。
- ・(委員) スポーツ庁は地域の人材を活用して学校の部活動を社会体育化の発想をうたっている。そして教員の労働時間の縮小に帰結していくこではある。
- ・(町長) 事務局の提案は、学校のクラブ活動と社会体育の二つのウェイトの話をで、委員が言われたことは最終的にそれが社会体育によっていく、という違いはある。そのため、その二つが連立する記載でよいか、という問題にもなる。つまり、今の委員のご発言から地域というのは基山町全体を指すことになる。思いや考え方によって、捉え方が異なってくるはず。この点においては、もう一度考えたい。
- ・(町長) 基本目標 5 (2) 取組方針の一つ目にある軽スポーツについて、「軽スポーツ」が何かということの記載がほしかった。
- ・(事務局) 軽スポーツとは、ペタンクや今はハードになってきたがミニバレーなどが該当する。
- ・(委員) 総合型スポーツでやられているものという認識でよいか。
- ・(事務局) はい。競技スポーツと軽スポーツという分け方になってくると思われる。具体的な軽スポーツを入れた方がよいのであれば、記載したい。
- ・(町長) 広義の軽スポーツと狭義の軽スポーツがあると考え。そこは明確化した方がよい。たとえば、ペタンクなどを記載すれば広義の意味での軽スポーツだと認識することができると思う。この大綱の中で表現する軽スポーツは何かという定義づけは必要だと思う。
- ・(町長) 基本目標 6 の文化財等について、ご意見はあるか。
- ・(委員) 文化遺産、文化財、伝統文化と 3 つの言葉の認識が混同している気がする。文化遺産という大きな枠組みの中に文化財、伝統文化が含まれているとい

う認識でよいか。

- ・(事務局) 前回の会議から、文化遺産という言葉の説明を入れて記載している。まだ、文化遺産という言葉が一般的に慣れていないことから、多少意味は重複するが文化財、伝統文化という言葉も使用して修正を行った。
- ・(委員) それならば、基本目標6の表題について「文化遺産の保存と継承」と、文化遺産でくくり、(1)(2)に分けずに記載してみてもどうか。分けてしまうことで、別の意味をあらわしているように捉えてしまう。
- ・(事務局) 1項目でまとめて、今(2)であがっている取組方針をそのまま取り入れる形で記載したい。
- ・(町長) 文化遺産が一番広い概念でその中に文化財と伝統文化が含まれるという考え方でよかったか。整理しておくこととして、それ以外にはなかったか。
- ・(事務局) 考え方は問題ない。文化遺産は後世に伝えていきたいモノやコトを指す。文化財とは、「財」とあるよう、国や自治体が資財を投じて保存していくもの。文化遺産という大きな枠組みの中で、民間行事等は伝統文化というカテゴリーに入る。
- ・(町長) その整理で、佐賀遺産はどこに属することになるのか。
- ・(事務局) 文化遺産の一つのカテゴリーと考えられる。
- ・(町長) そのカテゴリーとは。

(町長、委員、事務局で図を用いて整理を行う。)

- ・(町長) 広義と狭義の文化遺産が存在するということ考え方でよいか。それならば、文化遺産で大きくまとめて、(1)文化財(2)伝統文化(3)文化遺産で整理したらいかかがか。
- ・(町長) 前回から新たに追加した基本目標7について、(2)の内容について他の内容と比較して非常に細かい記載になっているように感じる。

(事務局) 前回の会議の中で、小さな集落の中でも受け継がれているものも別項目で挙げてほしいとのことだったので記載したが、その中で取組方針を見つけようとする具体的な書き方になった。

- ・(委員) この内容については、基本目標 6 に入れ込んでみたらどうか。もし、基本目標 7 に入れ込もうとするなら、子どもに対して記載がほしい。
- ・(町長) 基本目標 7 の新設は問題ないだろうか。
(委員の異論なし)
- ・(町長) そうなると、(1) の設定で全てを含んでしまっている気がする。今の (2) は (1) の手法を示しているように感じる。他の視点から挙げられないだろうか。
- ・(町長) 基本目標 3 (4) についてが、地域全体での取り組みに近いので基本目標 7 に移動してみてもいいか。基本目標 7 (2) は (1) の中にうまく取り入れなければならぬ。例えば、中学校が行っているインターンシップや商工会青年部が行っているキッズドリームなどは大綱の中でどこに該当するか。記載がなければ、それこそ基本目標 7 で項目としておこなってみてはどうか。
- ・(委員) 基本目標 7 (1) の取組方針で子どもたちに活動を促すとあるが、その活動とは具体的には何を指すのか。また、別件で基本目標 5 (1) 取組方針最後の項目について、社会体育については地域に密着しているように感じられるが、少年スポーツについては地域を超えて活動するなど地域に密着している必要がなく、広い視野でとらえる必要がある感触がする。
- ・(町長) 一般的な感覚がそうだと思う。行政的な感覚での記載になっている。
- ・(委員) 基本目標 7 の話についてだが、(2) の部分は基本目標 6 に該当するように感じる。基本目標 7 は基本目標 2・3 での内容に重複してきている部分もあるので、区別する必要があるならば、先程あったインターンやキッズドリームなどの取り組みについて具体的に記載した方がよい。
- ・(委員) 子どもという対象と青少年という対象の範囲がかぶっているところもあることから、中身でいえば基本目標 3 と基本目標 7 が一緒になっている部分があると思う。先程例がでた商工会と学校が連携している事業は、商工会と学校側だけでつながっていて、キッズドリームも同じ。地域で子どもを育てて大人になって地域に残ってもらうように、商工会が行っている職業体験やインターンシップは行いたいと思っている。しかし、金銭面で基山町との関わりがなく、県やその他から補助金をもらってなんとか活動している。基山町単独でも支援ができるような形で子どもを育てるという意味合いを基本目標 7 に入れてほしい。地域と団体と行政が一体となって取り組むという意味の表現がほしいということ。

- ・(委員) 中学校の職業体験については教育課程に位置付けられている進路指導の一つの取り組みで、主にPTAの方をお願いして職場を探していただいている。基山町だけでなく、鳥栖、小郡の自衛隊、久留米などでも行っており、幅広い地域で行っており、それはここに文言として残しても良いと思う。商工会がやられているキッズドリームについても、そういうことが地域で学びを支えていることにつながっていると思う。基本目標7(2)については、小さな集落での伝統文化を継承するという意味では、取組方針の記載は少し細かくなってしまったが、大事な取り組みであると考えている。
- ・(委員) 基本目標7について、「子ども」の成長や学びを支えるとの題目になっているので、(2)については対象が子どもであるということがわかるような記載がほしい。
- ・(町長) (2)の書き方によっては、基本目標6に入ってしまう。(2)は(1)の中に入らなくともよいようにしてはどうか。二つ目の項目として、基本目標3(4)をもってくれば基本目標内に2つの項目がたつ。加えてもう一つ、キッズドリームや職業体験をはじめとした、子どもたちの達成感や成功体験を導くなどの項目をあげてみてはどうか。

(事務局から基山町教育大綱見直しのスケジュールについて説明)

5 閉会

事務局進行

～10時20分閉会～